

オーサービジット事業 (大阪府教育庁主催) 絵本を作った人にあえる!?

子どもたちが大好きな絵本「森のゲオルグ」の作者の方が園に遊びに来てくれました。一緒にワークショップ(てんと虫パッチ製作)も行い、楽しんで参加していました。お礼に「パブリカ」のダンスを披露しました。

取り組み

「主人公、妖精のゲオルグは他の妖精と違って、7歳で生えるはずの羽が生えていない。しかし、虫たちとお話ができた、優しい心を持つ妖精。その力を使って困っているみんなを助けることができた!」というストーリーに夢中になった子どもたち。子どもたちは羽を作ったり、絵本作家のノースミー先生が来園されることを知らせると、「どんな人なんだろう?」「テントウムシに乗ってやってくる?」と期待を膨らませていました。

1 絵本「森のゲオルグ!」

お話を読んで、ゲオルグが好きになった子どもたち。お話の内容をみんなで共有して、思ったことや感じたことを発表しました。
「自分たちも妖精の羽を作りたい」と絵本を見ながらオリジナルの羽を作りました。



絵本に出てくるのは?



羽を作った!

どんな模様にしようかな~

2 ノースミー先生がやってきた

わくわく・ときどきで待っていると・・・ノースミー先生が来てくれました。ワークショップ(テントウムシのパッチ製作)や衣装を着て写真撮影を行いました



絵本がもっと好きになりました

作ったパッチは制販につけました!



子どもたちの思ったこと



ゲオルグは優しくして心の広い、素敵な妖精さん!



ゲオルグのマントと帽子を付けて写真撮影